

事務事業名		選挙啓発推進団体等支援事業		<input type="checkbox"/> 実施計画登載事業		<input type="checkbox"/> 合併建設計画登載事業					
政策体系	政策名	0:8: 自立した行政経営の確立		事業期間		予算科目					
	施策名	3:4: 効率的で質の高い行政運営の推進				<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始 昭和38 年度 ~) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 【計画期間】 年度 ~ 年度 ↓ 全体計画欄の総投入量を記入	会計	款	項	目	事業
	基本事業名	0:1: 成果重視の行政運営の推進					01	02	04	02	01
根拠法令											
所属	部課名	選挙管理委員会事務局		電話	0192-27-3111						
	係名			内線	192						
事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述)						全体計画(期間限定複数年度のみ)					
選挙啓発の推進を目的に組織されている明るい選挙推進協議会の支援を通じて、選挙啓発事業を実施し、児童・生徒はもとより全市民に、選挙に関心を持ってもらうための事業。 明るい選挙推進協議会は市内各地区の地区公民館長、婦人会長、老人連合会、白バラ会役員、選管委員及び生涯学習関係者等で構成されている。 各種選挙において、投票率の低下、とりわけ20~30代の若い層での選挙離れという現状を受け、同協議会総会及び研修会では、選挙PR(パレード、広報)の実施について協議を行うほか、岩手県選挙管理委員会等と連携して児童・生徒を対象とした選挙啓発ポスターの募集を行う等、幅広い年齢層を対象とし選挙啓発を実施している。 事業費は、ポスター展に応募した児童・生徒への参加賞、岩手県選挙管理委員会が開催する研修会への旅費として支出される。						総投入量(千円)	事業費	国庫支出金			
							財源内訳	都道府県支出金			
								地方債			
								その他			
								一般財源			
						事業費計(A)	0				
						人件費	正規職員従事人数				
							延べ業務時間				
							人件費計(B)	0			
						トータルコスト(A)+(B)				0	

1 現状把握の部(DO)

(1) 事務事業の目的と指標		活動指標(事務事業の活動量を表す指標)	
手段(主な活動)		名称	
前年度実績(前年度に行った主な活動)		単位	
明るい選挙推進協議会の総会・研修会の開催。 市民への公正で明るい選挙の啓発を実施。 選挙啓発ポスター募集の実施。		ア	推進委員数
今年度計画(今年度に計画している主な活動) 明るい選挙推進協議会の総会・研修会の開催。 市民への公正で明るい選挙の啓発を実施。 選挙啓発ポスター募集の実施。		イ	街頭で啓発した推進委員数(参加延べ人数)
		ウ	
対象(誰、何を対象にしているのか)*人や自然資源等		対象指標(対象の大きさを表す指標)	
市民(有権者)(年度当初選挙時もしくは3月2日現在) 小中学生(5月1日現在)		名称	
		単位	
		カ	有権者数
		キ	児童生徒数
		ク	
意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)		成果指標(対象における意図の達成度を表す指標)	
選挙制度を理解してもらい選挙に関心をもってもらう。		名称	
		単位	
		サ	投票率(平成22参院選の投票率)
		シ	市内の選挙違反件数
		ス	児童生徒のポスター応募者数
結果(基本事業の意図:上位の基本事業にどのように貢献するのか)			
計画的に質の高い行政運営がなされている。			

(2) 総事業費・指標等の推移

投入量	事業内訳	単位	年度							
			17年度(実績)	18年度(実績)	19年度(実績)	20年度(実績)	21年度(実績)	22年度(実績)		
事業費	国庫支出金	千円								
	都道府県支出金	千円								
	地方債	千円								
	その他	千円								
	一般財源	千円	58	58	49	48	28	37		
	事業費計(A)	千円	58	58	49	48	28	37		
	人件費	正規職員従事人数	人	3	3	3	3	2	2	
人件費	延べ業務時間	時間	500	500	500	500	400	100		
	人件費計(B)	千円	2,000	2,000	2,000	2,000	1,600	400		
トータルコスト(A)+(B)		千円	2,058	2,058	2,049	2,048	1,628	437		
活動指標	ア	人	36	36	36	34	36	36		
	イ	人	28	18	30	19	18	35		
	ウ									
対象指標	カ	人	35600	35167	34,726	34,113	34,213	34,072		
	キ	人	3968	3880	3712	3,616	3,464	3,274		
	ク									
成果指標	サ	%	78.15	81.40	75.82	82.43	78.03	64.83		
	シ	件	0	0	0	0	0	0		
	ス	人	16	45	71	74	155	98		

事務事業ID	0766	事務事業名	選挙啓発推進団体等支援事業
--------	------	-------	---------------

(3) 事務事業の環境変化・住民意見等	
この事務事業を開始したきっかけは何か？いつ頃どんな経緯で開始されたのか？ 昭和26年の第2回統一地方選挙において、腐敗慣行が横行したことによる空前の違反検挙があったほか、翌年に予定されていた衆議院議員総選挙に向けた激しい事前運動が行われ、国民の間に選挙の腐敗、墮落が生じた。特に悪質な事前運動に対する強い批判が起きたことを契機に、公明な選挙への全国的な取組みが行われ、その後、この取組みが発展し、明るい選挙推進運動として現在に継承されている。	
事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)は、開始時期あるいは後期基本計画策定時と比べてどう変わったのか？ 当初、この活動は公明な選挙の実施を目的に始まったが、その後投票率の低下に対する取組みが重要事項として新たに加わった。 その現状として、若い層を中心とした選挙離れ、無党派層の増加、個人の価値観の多様化等が要因となり、全国的に投票率は低下傾向にあるが、当市での市民の選挙に対する意識は高いものがある。	
この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか？ 市民(有権者)から、不適切な選挙活動に関する照会もあり、投票率の低下を招かないよう、今後とも選挙啓発活動の継続等を望むという声が寄せられている。	

2. 評価の部(SEE) * 原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価

目的 妥当性 評価	政策体系との整合性 この事務事業の目的は当市の政策体系に結びつくか？意図することが結果に結びついているか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある [理由] → <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている [理由] → 選挙に対する関心を促し投票してもらうことは、民主主義において市民による政治体制づくりの基礎に結びつく。	3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映
	公共関与の妥当性 なぜこの事業を当市が行わなければならないのか？税金を投入して、達成する目的か？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある [理由] → <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である [理由] → 国、県、市の選挙に関わる業務であり、市民(有権者)と協力しながら推進すべき事業である。	3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映
	対象・意図の妥当性 対象を限定・追加すべきか？意図を限定・拡充すべきか？	<input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地がある [理由] → <input type="checkbox"/> 適切である [理由] → 選挙に対し、関心が低い若い世代への重点的な啓発の実施を検討していく必要がある。	3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映
有効性 評価	成果の向上余地 成果を向上させる余地はあるか？成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか？何が原因で成果向上が期待できないのか？	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある [理由] → <input type="checkbox"/> 向上余地がない [理由] → 若い世代を中心に、選挙への関心を高めるよう働きかけていくことで、更なる投票率の向上が図られると考える。	3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映
	廃止・休止の成果への影響 事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？	<input type="checkbox"/> 影響無 [理由] → <input checked="" type="checkbox"/> 影響有 [その内容] → 選挙に対する関心や公正な選挙に対する意識の低下が考えられる。	3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映
	類似事業との統廃合・連携の可能性 目的を達成するには、この事務事業以外他に方法はないか？類似事業との統廃合ができるか？類似事業との連携を図ることにより、成果の向上が期待できるか？	<input type="checkbox"/> 他に手段がある → (具体的な手段, 事務事業) <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる [理由] → <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない [理由] → <input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がない [理由] → 目的を絞った組織でなければ具体的な行動が起これないと考えられるため、当事業を継続させながら、市民への運動の浸透を図っていく。	3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映
効率性 評価	事業費の削減余地 成果を下げずに事業費を削減できないか？(仕様や工法の適正化、住民の協力など)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある [理由] → <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない [理由] → 必要最低限の経費で事業を行っている。	3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映
	人件費(延べ業務時間)の削減余地 やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか？成果を下げずに正職員以外の職員や委託でできないか？(アウトソーシングなど)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある [理由] → <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない [理由] → 行政主導の活動から推進員(市民)が中心となって活動が展開されていくことが望ましく、そのために広く推進委員を募るとともに、市民が主体となった明るい選挙運動の展開を検討する。	3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映
公平性 評価	受益機会・費用負担の適正化余地 事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある [理由] → <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である [理由] → 市民に等しく啓発(広報等)の機会を持っている。	3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映

3 評価結果の総括と今後の方向性(次年度計画と予算への反映)(PLAN)

<p>(1) 1次評価者としての評価結果 (2枚目と整合を図ること)</p> <table border="1"> <tr> <td>目的妥当性</td> <td><input type="checkbox"/> 適切</td> <td><input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり</td> </tr> <tr> <td>有効性</td> <td><input type="checkbox"/> 適切</td> <td><input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり</td> </tr> <tr> <td>効率性</td> <td><input checked="" type="checkbox"/> 適切</td> <td><input type="checkbox"/> 見直し余地あり</td> </tr> <tr> <td>公平性</td> <td><input checked="" type="checkbox"/> 適切</td> <td><input type="checkbox"/> 見直し余地あり</td> </tr> </table>	目的妥当性	<input type="checkbox"/> 適切	<input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり	有効性	<input type="checkbox"/> 適切	<input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり	効率性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 見直し余地あり	公平性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 見直し余地あり	<p>(2) 全体総括(振り返り、反省点)</p> <p>平成22年度は、明るい選挙推進協議会の推進員により参議院議員通常選挙や大船渡市長選挙時を中心とした、公正公明な選挙の推進、投票参加の呼びかけを行ったが、いま一つ投票率向上のカギを握る若者層の参加者が少ないことが課題であった。 今後は、この呼びかけを更に広く市民(有権者)にも広げていく方法を検討していく必要がある。</p>									
目的妥当性	<input type="checkbox"/> 適切	<input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり																				
有効性	<input type="checkbox"/> 適切	<input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり																				
効率性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 見直し余地あり																				
公平性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 見直し余地あり																				
<p>(3) 次年度の方向性(改革改善案)・・・複数選択可 (ただし、廃止・休止・現状維持は重複不可)</p> <p><input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input checked="" type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 事業統合・連携 <input type="checkbox"/> 現状維持 事業のやり方改善 (<input checked="" type="checkbox"/> 有効性改善 <input checked="" type="checkbox"/> 効率性改善 <input type="checkbox"/> 公平性改善)</p> <p>(上記方向性に対する具体的な内容)</p> <p>若い世代を中心とした政治離れが進行する傾向にあることから、従来の啓発活動を見直し、関心の低い層へ対象を絞った重点的な啓発が有効であると思われる。 有権者が身の回りの問題を通じ、政治及び選挙を身近に捉えられるような情報提供の方法も引き続き検討していく必要がある。</p>	<p>(4) 改革・改善による期待成果</p> <p>左記(3)の改革改善案を実施した場合に期待できる成果について該当欄に「」を記入する。 (廃止・休止の場合は記入不要)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2" rowspan="2"></th> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td>×</td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </tbody> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持			×	低下		×	×
				コスト																		
		削減	維持	増加																		
成果	向上																					
	維持			×																		
	低下		×	×																		
<p>(5) 改革改善を実現する上で解決すべき課題とその解決策又は特記事項等</p> <p>選挙に関心の低い若年層への投票参加の働きかけとして、若年層に的を絞った啓発方法を、若者の視点で考えていくことが必要である。 また、分かり易い選挙広報資料の提供、PR活動を通じながら、選挙(投票)のもつ意味を伝えることも継続して取り組む。</p>																						

(職名) 原則として施策の主管課長

4 事務事業の2次評価結果

2次評価者	選挙管理委員会事務局長
-------	-------------

<p>(1) 1次評価結果の客観性と出来具合</p> <p>記述水準(1次評価の記述内容を読んだ段階で選択)</p> <p><input type="checkbox"/> 記述不足でわかりにくい <input type="checkbox"/> 一部記述不足のところがある <input checked="" type="checkbox"/> 記述は十分なされている</p> <p>評価の客観性水準(2次評価を行った後に総合的に判断して選択)</p> <p><input type="checkbox"/> 客観性を欠いており評価が偏っている(事務事業の問題点、課題が認識されてない) <input type="checkbox"/> 一部に客観性を欠いたところがある <input checked="" type="checkbox"/> 客観的な評価となっている(事務事業の問題点、課題が認識されている)</p>																						
<p>(2) 2次評価者としての評価結果</p> <table border="1"> <tr> <td>目的妥当性</td> <td><input checked="" type="checkbox"/> 適切</td> <td><input type="checkbox"/> 見直し余地あり</td> </tr> <tr> <td>有効性</td> <td><input checked="" type="checkbox"/> 適切</td> <td><input type="checkbox"/> 見直し余地あり</td> </tr> <tr> <td>効率性</td> <td><input checked="" type="checkbox"/> 適切</td> <td><input type="checkbox"/> 見直し余地あり</td> </tr> <tr> <td>公平性</td> <td><input checked="" type="checkbox"/> 適切</td> <td><input type="checkbox"/> 見直し余地あり</td> </tr> </table>	目的妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 見直し余地あり	有効性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 見直し余地あり	効率性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 見直し余地あり	公平性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 見直し余地あり	<p>(3) 評価結果の根拠と理由</p> <p>意識啓発に関する事業であり、地道に取り組む必要がある。 全国的に選挙への関心が低下しているが、投票の重要性を認識させるためには、啓発活動がやはり効果があると考えられる。</p>									
目的妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 見直し余地あり																				
有効性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 見直し余地あり																				
効率性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 見直し余地あり																				
公平性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 見直し余地あり																				
<p>(4) 次年度の方向性(改革改善案)・・・複数選択可 (ただし、廃止・休止・現状維持は重複不可)</p> <p><input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 事業統合・連携 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 事業のやり方改善 (<input type="checkbox"/> 有効性改善 <input type="checkbox"/> 効率性改善 <input type="checkbox"/> 公平性改善)</p> <p>(上記方向性に対する具体的な内容)</p> <p>現状どおり、継続して事業を実施する。選挙時だけでなく、繰り返し啓発活動を実施することが必要であり、さらに、新たな啓発活動の検討もする必要がある。</p>	<p>(5) 改革・改善による期待成果</p> <p>左記(4)により期待できる成果について該当欄に「」を記入する。また、1次評価と内容が異なる場合には、1次評価の結果も「」で記入する。 (廃止・休止の場合は記入不要)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2" rowspan="2"></th> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td>×</td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </tbody> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持			×	低下		×	×
				コスト																		
		削減	維持	増加																		
成果	向上																					
	維持			×																		
	低下		×	×																		

5 最終評価結果

<p>(1) 行政経営推進会議等での指摘事項</p>
